

2017-7-1

ふじさわ・九条の会ニュース

NO49



発行人 ふじさわ九条の会 事務局長 吉塚晴夫 0466-365-4033

<http://hws2.spaaqs.ne.jp/fujisawa9jo/>

5. 3憲法集会に集まった 5万5千人の市民 —東京臨海防災公園—



いよいよ正体を現わした 安倍首相の憲法改悪案 —9条に3項を追加—

安倍首相は、5月3日の日本会議の集会メッセージ、読売新聞のインタビューで、憲法9条に自衛隊を書き込み、改憲をさらに進めようと発言しました。1項、2項はそのまま残し、3項に自衛隊を明記しようというものです。理由は、自衛隊が違憲だという人がいるから自衛隊の存在を憲法に明記しておいた方が良いというものです。あたかもこれまでの自衛隊の存在を追認するだけかのような発言になっていますが、しかし、安倍首相の頭の中は、これまでの自衛隊

は「専守防衛の自衛隊」だったものを、集団的自衛権行使容認の閣議決定で「自由に海外へ出かけられる自衛隊」にしたから、9条3項に自衛隊を書き込んでおけば憲法上自由に海外派遣が可能になるという考えです。しかも、今度は2020年までにと期限を切ったことに安倍首相の執念が感じられます。

しかし、国民の多くは、NHKの今年の世論調査でも、「憲法9条の改正について」は、賛成25%に対し57%の人が反対と答えており、さらに5月3日東京臨海防災公園で行われた憲法集会には55000人（藤沢から28人）もの人が集まり、その後、安部首相の9条3項加憲反対の運動も着実に広がっています。（文責小林）

6月15日7時46分・共謀罪強行採決 政府は歴史の逆走を加速させた

齋藤 隆夫



(国会前の集会であいさつする齋藤さん)

6月15日朝6時45分、私は豆ラジオを片手に自転車にまたがった。辻堂駅街宣のためだ。ラジオを持ったのはニュースを聞くためだ。駅に着いてラジオのスイッチを入れた。7時、参議院本会議は開かれていたが、まだ、採決に入っていない。ラジオをいつまでも聞いているわけにはいかない。私はマイクを握った。法務委員会の審議を途中で打ち切って、本会議では中間報告だけで採決に入るという与党の横暴さに私は腹が立っていた。国会運営の横暴さ、森友学園、加計学園問題にみられる国家運営の私物化、こういうことを平気でやってしまうような人たちが、共謀法を扱うことの危険性について訴えた。

安倍内閣によって日本の政治は大きく逆走している。高速道路での逆走も危険だが、政治の逆走(秘密保護法、戦争法 盗聴法そして共謀法)はもっと危険だ。政治の逆走にブレーキかけ、方向転換させるための市民の闘いは、中央でも(国会や日比谷野音)、地元でも(藤沢)、さらに個人の手ガキ作戦など多岐にわたっておこなわれるおこなわれてきた。

6月になってからの共謀法案に反対する行動を私のノートで拾ってみると以下の通りである。

- 6月1日(大和の講演会)
- 2日(九条の会の講演会)
- 3日(安倍政治も共謀法も許さない藤沢集会)
- 4日(配布するチラシ作成)
- 5日(サンパールでスタンディング)



(サンパール広場で挨拶する4野党代表)

- 6日(朝、法務委員会傍聴、昼国会周辺集会)、
- 8日(辻堂駅宣伝)
- 10日(国会周辺集会)
- 11日(サンパールで第3回「コックイオンドク」・・・小林さん作成の動画参照)
- 12日(サンパールでスタンディング)
- 13日(藤沢市議会傍聴、夜、日比谷野音で沖縄と連帯した集会)
- 14日(国会周辺の集会)・・・そして15日
- 16日以降の私たちの合い言葉は「あきらめない」「黙らない」「萎縮しない」ということである。

マスコミに大きく取りあげられた 藤沢サンパール広場での コックイオンドク



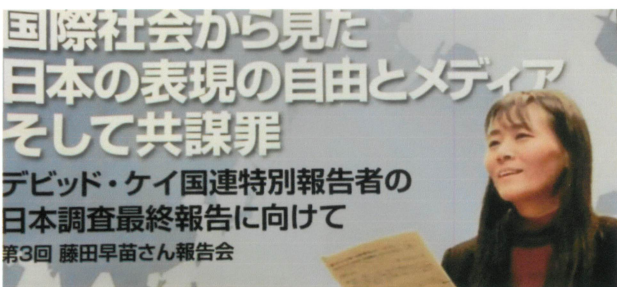
6月12日、NHK、東京新聞等で、藤沢サンパール広場で行ったコックイオンドクが広く取りあげられた。あまりニュースにしないNHKでも2回も放映された。このコックイオンドクには「ふじさわ・九条の会」のメンバーも出演。東京新聞は、「藤沢市のJR藤沢駅北口の広場では11日、「金田勝年法務大臣」などの配役を記したパネルを首から下げた参加者が、国会での

やりとりを書き起こした台本を読み上げ、論戦を再現した。午後4時から約1時間。通行人らで百人近い人だけりできた。」と報道。

「ただいまのご指摘はですね、その一般の方々が、その集団に属しておる方々が、一変した場合の組織的犯罪集団に、えー、そのまま属している場合に、その、みなさんが『関わり合いを持つ』ということになるわけでありまして」と金田法相の答弁を、参加者の会社員内藤繁さんが読み上げると、別の参加者から「何を言っているのか分からない」と声が上がった。失笑も交じる。法務省の担当者役の出演者が、金田法相に後ろから何度も答弁を耳打ちする場面もリアルに再現した。

藤沢での「コッカイオンドク」を主催し、安倍晋三首相役などを務めたバレエピアニスト朝倉優子さんは「市民がなりふり構わず声を上げている姿を見てもらい、国会を動かしたい」と力を込めて話していた。

<コッカイオンドク>とは、衆院予算委や法務委などでの共謀罪を巡る攻防を、金田勝年法相や野党議員になりきって再現する音読劇。5月15日に石川県で始まり、共謀罪に反対する市民グループらが自主的に全国で開催するようになった。（一部、東京新聞より転載）



共謀罪にたいする 国連特別報告者の勧告と あきれた日本政府の対応

国枝 健

日本の特定秘密保護法と共謀罪法案を英訳して、国連の人権担当者に持ち回りした英国エセックス大学人権センターの藤田早苗講師が横浜県民センターで髪振りみだして訴えるのを聞いた。それからわずか12日後、6月15日の早朝、自、公、維新賛成多数で参議院を通過、決

定した。昨年4月に来日し、「メディアの独立性に懸念あり」と正式に報告したデビット・ケイ氏を日本政府は無視。同じくプライバシーに関する特別報告者ジョセフ・ケナタッチ氏からはアベ首相に書面により「共謀罪は恣意的な運用の危険性がある」とまでかなり辛口で勧告された。日本政府は「特別報告者は個人の資格で勧告したものであり国連の総意ではない。客観的でもない。」とムキになって反論！。良識ある国民はあきれ返った。

しかし、この政府の考え方は、満州事変前に起きた当時の国際連盟から派遣されたリットン調査団の報告書に怒って国際連盟を脱退、満州に攻め入り、第2次世界大戦へと突き進んだ日本の「軍国主義」を思いださずにはいられない。

森友学園への政治家のテコ入れは、 「教育勅語教育の復活」が狙い

持田 早苗

大日本帝国憲法には、教育に関する条項はない。教育はすべて天皇が下す「勅語＝天皇の御言葉」として、国民に命令し、押しつけるものだった。教育勅語には絶対服従で、天皇のために死ぬということが、喜びとされ、すべて戦争へと引っ張っていった。まさに「血に染まった教育勅語」である。

戦後、「個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する」教育基本法が公布され、国会では教育勅語の排除、失効が決議された。しかし、1953年に森友学園（塚本幼稚園）は認可され、1997年には、皇室中心の日本、新憲法制定、国防の充実などを掲げた日本会議が動き出した。2006年には、第一次安倍内閣の下で「わが国と郷土を愛する」ことを目的とした改定教育基本法が成立した。侵略戦争の責任や反省が、あいまいにされてきた中で、教育勅語は生き続けていたのである。

政治家がテコ入れをした「戦前回帰」の地ならしの延長線上に、教育勅語奉読の森友学園（塚本幼稚園）、教育勅語使用を認める閣議決定、今年採択の小学校道徳教科書がある。その行き着く先には戦争国家がみえる。

アベ首相の

9条3項追加改憲案

に対する市民の怒りの声

道理を通して、

無理を引っ込ませるのか

鳴志田 直紀

モリ・カケの腐臭。無知と無恥の「二つのムチ」。教育基本法の改悪、国家秘密法、戦争法、共謀罪・・・これ全部強行採決。岸信介が我が世の春を謳歌した戦争の時代が再現するなんていうのは、ほとんど悪夢だ。たとえそもそも小選挙区制に欠陥があるとしても、市民運動と立憲野党が手を結べば、彼らを少数派に追い込むことはできるはずだ。

核保有国のアメリカもイギリスもフランスも、自国へのテロを防げなかった。日本は一度もイスラム過激派のテロの標的にはなっていない。それは戦争をしないこと（交戦権の否定）を憲法に書いているからだ。この信頼を投げ棄てることほど愚かなことはない。

1項、2項をないがしろにする

3項追加はいらない

長野 協一

自民党改憲草案では、自衛隊を国防軍と言い換えています。国民の批判を和らげようと姑息な手段で憲法九条に自衛隊と追加明記を目論んでいます。あくまでも自民党案の最終目的は憲法改悪です。九条には2項までしかありません。そこに3項追加で自衛隊と明記することは1項2項をないがしろにする行為で許せません。

アベのいう美しい国とは

小笠原正代

とうとう9条に自衛隊の明記を宣言したアベ。テレビで得意気に宣言するアベの顔に腹立たしさと嫌悪感。ここまでアベをのさばらせてしまったのはなぜ？

アベ政治の大暴走を止めなければ、その先に

はどんなアベの言う美しい国があるのか。大ウソつきのアベのいう美しい国とは。

国民をバカにし、やりたい放題の

安倍政治を阻止しよう

岡村 孝子

5月3日にアベ首相が支援団体「日本会議」関係の大会に寄せたメッセージは、論理と立憲政治を無視し、自分の方向へと突っ走る首相個人の思考形態と計算をまたまた露呈した。いつもながら論議をつくすことは初めから放棄し、国民を馬鹿にして、たかをくくっている。

この安倍政治を許し、阻止しないで通してしまったら、国民として本当に恥ずかしいと思う。

－ 88才の恩師の手紙より－

次世代のために、平和憲法は

守り抜かねばならない

福永 洋子

中学卒業以来年賀状を出し続けている恩師に3か月くらい前に、私の近況と生き方を知ってもらう為、「ふじさわ・九条の会」ニュースを数部送ったところ、分厚い手紙が一昨日戴いた。とても88歳の女性とは思えない熱い心のこもった恩師の手紙なので紹介します。

「ずっと体調が悪い中、書いては休み、また、書き継ぐの繰り返しをいたしてまいりました。『出藍の誉』にふさわしいあなたに、人生の残照の身の貴重な時間をもって接することが出来るのは何という教師冥利でありましょう。ただ、ただ、感謝です。そして、次の世代の為に平和憲法を守らねばならぬあなたの熱い心に共有の私です。

一昨日、共謀罪が参議院で、またも卑劣な手口で採決されてしまいました。この先、天皇の退位と新天皇の即位、そして改元。加えてオリンピックの準備、国内は想像すると大変忙しいこの時期に、なぜ改憲か？。国の最重要事項を決めるに際しては、国民の多くにじっくり考える時間を与える。一国の首相であれば、これが正当な考えであろう。国民の目が国の大事な出来事に集中している間、どさくさなら改憲も通しやすい。自分の任期中に成立させて歴史に

自分の名を遺したいという考え方だろうか。その為、オリンピックにかこつけて、一国の憲法をオリンピック同等と考える軽々しさ、この人の知的水準は一体何であろう。こういう人物とその取り巻きに操られる国の不幸をつくづくと感じた。おかしいことをおかしいと言える人々の視野が広がって平和憲法が守られること。それは、今、思いをいえない立場の子供たちの命を守り得るかけがえのない遺産と考える。改憲を食い止める最も重大な機会は、今をおいてないように思えてならないのです。」

一江ノ電沿線九条の会学習会から一 普天間のたたかいは

米兵も励ましている

鳥海 陽子

江ノ電沿線九条の会は6月17日、片瀬市民センターで「初夏のつどい」を開催、20名が参加して交流を深めました。

初めての方に参加の理由をお聞きしたら、「私の住む遠藤地域にはこういう会がないから」とのこと。嬉しかったです。

企画は、反戦イラク帰還兵が語る『普天間に呼びかける』のDVDの上映会でした。参加者から「正義の戦争などない」「教育勅語のことが何故もっと問題にならないのか」「戦争の時代、女性は特に息苦しい時代だった。でもこうした苦しみが若い人に伝わらないの」などの意見が出ると、「情報を取り上げないメディアが問題」

「安倍の言うオリンピックのためのテロ対策の方を信じてしまう」など意見交流が進みました。

主演のイラク帰還兵のアーロンさんは、2003年にイラクに派遣された時の経験から「軍隊は人間を人間でなくさせる」「普天間の闘いは、家族のもとに帰りたい米兵をも励ましている」そして、『憲法9条は日本だけでなく、どこの国でも共有できる』と語りかけます。今は反戦帰還兵として、普天間のゲート前で、米兵に直接呼びかけるアーロンさんの姿が印象的でした。

7月26日には、第30回連続「憲法学習会」が予定されています。

「ふじさわ・九条の会」

12周年記念集會行わる



4月16日、藤沢市民会館小ホールで12周年記念の集いが開かれた。

参加者は、各地域九条の会の皆さんも含め約300名。最初に地域九条の会の代表が、それぞれの地域ののぼりをもって登壇し、代表して藤が岡周辺九条の会の田島祥子さんが挨拶（写真）、藤沢合唱団のミニコンサートの後、弁護士の皆さんによる憲法劇の上演がおこなわれた。最後に市民会館から年金事務所までパレードを行った。

弁護士さんの憲法劇

「比べてみよう！ いまけん

vsじみけんの社会」を観て

島田啓子



知れば知るほど恐ろしい自民党改憲草案を「朝まで生テ

レビ」風にチョーわかりやすくーと銘打って、弁護士7名が安倍総理、櫻井よしこ、稲田朋美役の改憲派とママや教員そして一番頼もしい「ゴケン」という名犬役の護憲派に分かれて①前文②天皇③9条などの条文に沿ってパネルディスカッション形式で名演。単独の講師による学習会より、対比ということではわかりやすかった。楽しみながら自民党の改憲草案の危険性が理解できたとの感想が多かった。一方、取り上げた条文が多すぎたし、弁護士さんだけに早口で聞き取りにくい面もあった。忙しい7人もの弁護士が集まって練習をすることはまさにチョー困難、全員そろったのは当日の午前中との由。パレードにも参加下さった弁護士さんに感謝！

2017年度の 「ふじさわ・九条の会」全体集会



5月14日、今年度のふじさわ九条の会の全体集会が開かれた。「憲法9条にノーベル平和賞をの運動」を進

めている鷹巣直美さん(写真)のお話を聞いた後、16年度の活動報告、17年度の活動計画などが論議され、新役員が選出された。

新事務局長の挨拶

共謀罪後の私たち

吉塚晴夫



共謀罪が私達の社会を支配します。9条の会の共謀罪廃止の市議会陳情は、K党T議員の恫喝に晒され、不採択となりました。私達は更に一層、安倍政治を許さない行動を続けます。大胆且つ慎重に、決して萎縮することなく「天使のように大胆に、悪魔のように冷静に」抗議の声を上げましょう。

9の日行動、抗議の火、F・STAP、不戦の誓い、12区市民の会、国会日比谷行動、脱原発、葉書作戦、市議会陳情等可能な行動を呼びかけ、参加していきましょう。

各級選挙、無意味な五輪と改憲策動、低投票率の打破など課題は山積しています。

もう一度言いますが、決して萎縮することなく「天使のように大胆に、悪魔のように冷静に」

<2017年度の役員>

全体集会で選出された2017年度の役員。

- 一世話人一 (36人)
浅野陽子 青柳節子 飯田玲子、井上一恵
衛藤雅己 大山正雄 岡村孝子 鴨志田直紀
金子不二子 久保博夫 國枝健 見城次子
小林麻須男 小松原正代 紺野君子 斎藤隆夫
崎山稔 佐藤厚 島田啓子 白崎勇次郎
白田眞木 高須賀建郎 富矢伸史 野村和雄
田島祥子 平田保雄 福永洋子 保坂治男
堀内陽子 持田早苗 吉塚晴夫 吉鶴美智子
渡辺聖子 渡辺慈子 渡辺博明 渡辺誠
- 一会計監査一 永山園子
- 一事務局員一
吉塚(事務局長)、島田(事務局次長)、
小林(事務局次長)、渡辺(聖)(会計)、
斎藤 金子、田島、佐藤(8人)
- 一ニュース担当一 小林、折原、白田 平田
國枝 渡辺(慈)(6人)
- 一HP担当一 高須賀

=告知板=

下記の行動、会議はどなたでも参加できます
<世話人会議>

- 7月28日(金) 18:30 ~ 推進センター
- 8月28日(月) 13:30 ~ "
- 9月29日(金) 18:30 ~ "

<9の日行動>

- 7月9日(日) 15:00 ~ サンパール広場
- 8月9日(水) 15:00 ~ 小田急江ノ島駅
- 9月9日(土) 15:00 ~ サンパール広場

<スタンディング行動>

- ★「抗議の火を絶やさない」
毎週月曜 12:00 ~ 13:00 サンパール広場
(8月は休み)
- ★「F・STAP」 毎月 第1、第4水曜日
15:00 ~ 16:00 サンパール広場
- ★「安倍政治を許さない 全国行動」
毎月3日 13:00 ~ サンパール広場
- ★ 不戦のちかい行動
8月15日 16:00 ~ 18:00 サンパール広場